

平成 22 年 3 月 1 日

スリーディーエックス ジャパン

スリーディーエックス 西日本

## 3 DX-WEST JAPAN 2010 競技会のご案内

※詳細については別紙ルールブック参考

名 称：3DX/WEST JAPAN2010 競技会

日 時：平成 22 年 4 月 11 日（日曜日）9：00～16：00

場 所：山口県山口市阿知須 509 番 50（山口きらら博記念公園内）

連絡先：090-7549-7682（白澤）080-5464-5124（中村）

参加資格：ラジコン保険加入者（当日提示をお願いします）

市販されているヘリコプター（200～700：電動～90 クラスまで）

完全な自作機・改造されているものは当日確認（電動コンバージョン等も含む）

エンジン機は市販されている消音性の高いマフラーを必ず装着すること。

プロポ/無線機は認定シールがあるもの。海外製品は使用不可（当日確認）

※初心者の方も大歓迎です。機体の（※1）調整から飛行のアドバイスもあります。

参加者：約 30 名（当日受付可能）

参加費：2,000 円 /（※1）機体調整 1,000 円

主催者：3DX-JAPAN/WEST JAPAN

### ■タイムスケジュール■

8 時 30 分 受付（機体・※プロポ・動力用バッテリーを確認します）

※（財）日本ラジコン電波安全協会発行の認定シールが貼られているもの

9 時 00 分 開会式（主催者挨拶・注意事項説明など）

9 時 15 分 規定演技-競技開始 ※規定演技は別紙参照

12 時 00 分 昼休み（デモフライト）各メーカー

13 時 00 分 ON Music フリーフライト競技（2 分 30 秒～3 分以内で着陸）

16 時 00 分 閉会式（表彰式・器具片付け・ゴミ拾い）

16 時 30 分 解散

■ ルールブック ■

RC ヘリコプター競技会ならびに講習会（3D フライト）は無線操縦模型の安全なフライトおよび整備・点検等（エンジン機・電動機器（送受信機・V-Bar・アンプユニット等）の取扱いを理解しユーザー間の情報交換の場とすることを目的とする。詳細については以下の通り。

**I. 注意事項：**すべてあなたの責任です。

- 1) 安全に飛行または取扱いができること。
- 2) 飛行前点検を確実に行う。危険な行為をした場合はただちに飛行中止  
不良箇所を発見した場合も飛行を中止し即整備をおこなうこと。
- 3) 動力用バッテリーの管理は使用者でおこなう。
- 4) 飛行エリア・パイロットエリアは当日指示されますので必ず厳守して下さい。  
競技会のルール等、守れない場合は飛行ならびに参加をお断りいたします。
- 5) 4) で定めた飛行エリアで飛行中の機体がある場合はエリアに立ち入らない
- 6) ジャッジの判断で危険なフライトと認められた場合は飛行を中止します。
- 7) 会場内にゴミを残さない。必ず持ち帰りましょう。
- 8) 事故等を起した場合ただちに消防・警察に連絡し指示に従うこと。  
スリーディーエックス協議会は一切の責任は負いません。
- 9) この競技会・講習会は参加者全員が協力し設置・運営する。

**II. フライト：**すべてあなたの責任です。

- 1) エリアは2分割しホバリング専用とフライトエリア/競技エリアとする。
- 2) 1人あたりのフライト時間/待機含む時間は4分間以内とする。
- 3) フライト中、安全確保のため必ず助手を最低1名つけ周囲の安全確認をおこなう。
- 4) フライト後、ただちにパイロットエリアから退出する。
- 5) 定められたエリア外で浮上また、動作確認のためエンジン始動・アンプの起動等させないこと。
- 6) その他、不明な点は必ず担当者もしくは安全担当者へ確認すること。

**※運営側からのお願いと注意事項**

大会会場は山口県/山口きらら博記念公園内の駐車場をお借りしておこなわれます。  
公共の場所です。今大会のルールおよびマナーをしっかり守りラジコンライフを楽しみましょう。危険な行為/飛行は禁止しています。ルールに基づいた飛行を心がけて下さい。  
お弁当の残り物やその他のゴミは必ず持ち帰り処理して下さい。  
隣接している山口きらら博記念公園や道の駅等にゴミを捨てないでください。  
今後、3DX 競技を続けていくためにご協力の程よろしくお願い致します。

3DX-WEST JAPAN

スタッフ一同

**1) 離陸 K1**

定められた位置でアイレベル（スキッド位置）でのホバリング最低 3 秒以上維持する/スタート・フィニッシュのコールを行うこと

**2) バックワードフリップ K2**

水平直線飛行（A）を 10m 以上おこないパイロットのセンターで※アップフリップをしながら（A）の水平飛行ラインに戻る。

Point：できる限り水平ラインでのアップフリップ飛行をおこなう。

**3) 3（スリー）パイ皿（3トルネード）K2**

3 周 正面/背面（ノーズ&テールインどちらでも可能）をおこなう。

Point：パイロットのセンターで水平なラインで飛行し、かつ円を描く。

**4) 3（スリー）メトロノーム K2**

メトロノームをおこなうためアップ操作し約 45° の角度で一旦停止し 3 回メトロ

ノームを連続して行う/1 回=開始した場所/位置に戻り 1 回とする。減点：位置が多くずれ、移動しながら行くと大幅減点となる。

**5) 3（スリー）バックロール K2**

水平直線後退（バック）飛行を 10m 以上おこない、連続したロールを 3 回おこなう。

模型はバック飛行をおこない、パイロットラインに対して水平に進入し連続した 3 回ロール（横転）をおこない進入時と同じ高度・方向を維持したまま水平に飛行し終了する。Point：軸が曲がったロールおよび高度変化が大きいと減点対象となる。ロールレートは今回、減点対象外とします。そのため高速でロールを行ってもよい。ただしセンター通過時に 2 回目のロールが背面飛行となるように調整する必要がある。

**6) 540° バンズ K3**

模型は背面ホバリングをおこない右または左の 540° ピルエットし連続して逆側のピルエットを 540° 行い終了します。開始前および終了後 3 秒以上のホバリングを行います。演技中は高度、位置の変化をしない様に機体を操作します。機体のズレは飛行している機体の 2 機長分（全長）まで認めます。ピルエット速度はできるだけ低速でおこないます。高速で回った場合や位置が大きくズレた場合は減点となります。

**7) 5（ファイブ）サイドメトロノーム K3**

サイドメトロノームをおこなうためエルロンを操作し約 45° の角度で一旦停止し 5 回のサイドメトロノームを連続して行う/1 回=開始した場所/位置に戻り 1 回とする。減点：位置が多くずれ、移動しながら行くと大幅減点となる。

**8) 着陸 K1 / オートローテンション着陸でも可能 K2**

オートローテンション着陸は開始前に必ずコールしてください。その後、決められた場所に安全に着陸すること。通常着陸も同様に着陸。※そのまま飛行すると危険な場合を除きやり直しは認めない。

※3 DX では各マニューバの係数は定められていますが、今回の行われる大会では一部変更しています。

ゼッケン No, #04 規定演技 点数表 審査員

No,	演技名称	K/係数	点数/10満点	合計
1	離陸	2		
2	バックワードフリップ	2		
3	トルネード	2		
4	スリー メトロノーム	2		
5	スリー バックロールズ	2		
6	540° バンズ	3		
7	ファイブ サイドメトロノーム	3		
8	着陸	1		
	オートローテンション	2		
合計				

3 DX WEST JAPAN

ゼッケン No, #04 規定演技 点数表 審査員

No,	演技名称	K/係数	点数/10満点	合計
1	離陸	2		
2	バックワードフリップ	2		
3	トルネード	2		
4	スリー メトロノーム	2		
5	スリー バックロールズ	2		
6	540° バンズ	3		
7	ファイブ サイドメトロノーム	3		
8	着陸	1		
	オートローテンション	2		
合計				

3 DX WEST JAPAN

ゼッケン No, #04 規定演技 点数表 審査員

No,	演技名称	K/係数	点数/10満点	合計
1	離陸	2		
2	バックワードフリップ	2		
3	トルネード	2		
4	スリー メトロノーム	2		
5	スリー バックロールズ	2		
6	540° バンズ	3		
7	ファイブ サイドメトロノーム	3		
8	着陸	1		
	オートローテンション	2		
合計				